

2013年4月5日

内閣総理大臣
安倍 晋三 様
男女共同参画会議議長・内閣官房長官
菅 義偉 様

新日本婦人の会
会長 笠井貴美代

高橋史朗氏の男女共同参画会議議員任命に抗議し、撤回を求めます

3月22日、男女共同参画会議の議員が発表されました。そのひとりに、高橋史朗明星大学教授が任命されたことに対し、新日本婦人の会は強く抗議するとともに、任命の撤回を求めます。

高橋氏は、日本軍「慰安婦」をめぐる教科書の記述を自虐的と批判し、伝統的な「家族主義」や性別役割分業をよしとして民法改正などを敵視する「新しい歴史教科書をつくる会」の元副会長で、子どもの発達障害の主たる原因を親の愛情不足と主張する親学推進協会の理事長を務めている人物です。かねてより、夫婦別姓や、人権と科学的な知識にもとづく性教育、さらには男女共同参画基本法を否定する言動でも知られています。さいたま市や荒川区の男女共同参画推進条例制定にあたって、ジェンダー平等に反する主張に市民や女性たちから批判の声が上がり、東京都男女平等参画審議会および仙台市男女共同参画推進審議会の委員就任に際しても抗議を受けています。

日本の女性の地位と平等度は、世界経済フォーラム発表のジェンダー格差指数で135か国中101位(2012年)と先進国最低レベル、世界でも低い水準にあることは、周知の事実です。日本政府は、国連女性差別撤廃委員会から、事実上の平等を達成するよう、再三勧告を受けています。2010年に閣議決定した第3次男女共同参画基本計画は、勧告をふまえて具体的な政策をすすめていくことをうたっています。男女共同参画会議は、日本で男女平等を推進するナショナルマシナリーとして、この第3次基本計画の実行に責任を負っています。高橋氏は、これまでの経歴を見ても、この会議の一員となる資格をもたないことは明らかです。

新日本婦人の会は、任命権者である内閣総理大臣と男女共同参画会議議長に対し、高橋史朗氏の議員任命をただちに撤回することを求めます。